

蒼生

そう せい

1 2014年
月号

年頭の挨拶

院長 森末正博



明けましておめでとうございませう。二〇一四年新たな年の初めに当たり皆様方にご挨拶申し上げます。昨年を振り返ってみますと参議院選挙で自民党の圧勝によりねじれ国会が解消され、安倍政権の強力な経済政策いわゆるアベノミクス効果によりデフレからの脱却がすすんでいるようにも見えます。しかし、われわれ地方のものにとりましてはまだ道半ばの感もいたします。

一方医療費に関しては本年4月より後期高齢者の医療費窓口負担額が1割から2割に増額され、消費税率も5%から8%へ増税されます。今後景気回復が少しでもすすむことを祈るばかりです。昨年の高齢者の介護に要した費用は約9兆円

だそうですが、二〇二五年には20兆円を超えるとも試算されており、他に類を見ない少子高齢化社会を突き進む我が国において国民全体で支えるにはとても巨額な費用です。経済を活性化し予算を捻出する努力を続けるのか、介護を必要としない元気な高齢者になる努力を続けるか、どちらも重要なことですが、どうも後者の方が費用的には得策かもしれません。

今年の4月には診療報酬の改定が予定されており、患者の重症度に応じた急性期医療の見直しと、がん拠点病院・地域支援病院と後方支援病院のさらなる連携を深め、地域包括ケアの充実を図ることが示されています。当院におきましては今年度以上に急性期から慢性期さらに在宅医療のさらなる充実と各分野の密接なネットワークの構築を進める必要があります。今年で私が院長に就任して3年目に入りますが、まだまだ組織としては十分とは言えません。今年をさらなる飛躍の年とすべく全職員が持てる力を最大限發揮して磐石な組織を築きたいと思っております。特に、昨年後半期より進めている医療安全に対する全職員の意識改革・各部門の業務の効率化などをさらに押し進めていきます。

患者様の笑顔と職員

の改定が予定されており、患者の重症度に応じた急性期医療の見直しと、がん拠点病院・地域支援病院と後方支援病院のさらなる連携を深め、地域包括ケアの充実を図ることが示されています。当院におきましては今年度以上に急性期から慢性期さら

慢性期さら

第20回 福山医学祭(演題)

福山市医師会館にて

当院の夜間外来の実態調査

外来 渡部友見 千々木千恵子

手術終了を待つ患者家族へのかかわり ～不安軽減のため術中訪問を実施して～

手術室 安原知里 細谷真砂美 島本千秋 渡辺英雅

初めて看護学生の臨地実習を受け入れて ～学びやすい臨地実習環境とは～

北病棟 住吉倫世 共同演者:山岡美代

柿の木の下には

名誉院長 飯島崇史

今年はいつになく我が家の柿は豊作だった。ご近所におすそ分けしたのにまだ100個以上が木に残っている。毎日ヒヨドリ

のいないときを見計らってメジロやスズメたちが群がり、忙しそうに

残っている。毎日ヒヨドリは食べさせてもらえな

かかったので、外観はよく覚えていたのだが味のほうはと

んと思いついて、例年この木がこんなに実をつけたのは過去一度あつたとき

空に残っているのみで、「木守り」と呼ぶにふさわしい風情を醸していたものだ。「木守り」とは柿や

下には埋葬した翌年、今回と同じくらい上作であつた

り。愛犬が死んで柿の木の下に埋まっていたという有

名な書き出しで始まる桜の美しさをたたえた文があつたし、絵本「いぬのごろた

は「桜の樹の下には屍体が埋まっています！」という有名な書き出しで始まる桜の美しさをたたえた文があつたし、絵本「いぬのごろた

高松の銘菓に「木守」というのがあつたなあ。柿

という話が主題なつて

た。確かに毛むくじや

ら、豊かな実りを授か

った。確かに毛むくじやら、豊かな実りを授か

る。我が家ではそれが柿であつた。犬の名前は「ムク」という。勤めていた看護師が亭主の転勤で退職することになったのだが、ある日お願いがあるのです

と云ってやってきた。実は犬を飼っているのです

が、転居先では飼うことを禁止されているため連れてゆけません。ご近所

や友達に頼んでみました

が、図体が大きいのでどこも無理と言われて困っています

。大きいけれど性格はすこぶる温和でい

まだワンと吠えたことがないため、番犬としては失格なのですがなんとか

飼ってもらえないでしょうか

かとのこと。あまり乗り気ではなかったがひどく困っているようなので

とりあえず一度見せてくださいということになっ

た。確かに毛むくじやら、大きく小熊のよう。おいに転居してからは、庭

尻を振り振りゆきゆき歩

く。でも顔つきが何とも



ち散歩も途中で引き返す
 ようになったため、フェ
 ンスを開放とし敷地内全
 域移動自由としてやった。
 ある冬の朝、家人が勝手
 口のドアを開けようと
 すると、何か重たいもの
 が邪魔をして開けること
 ができない。玄関から回っ
 てみると勝手口の前で「ム
 ク」が冷たくなっていた。
 鳴くこともせず主人に助
 けを求めるかのように勝
 手口にうづくまっつてこと
 切れたとはなんとも不憫
 でならない。お気に入り
 であつた場所に大きな穴
 を掘り、丁寧に埋葬して
 線香と花を手向けた。そ
 の次の年である、柿が今
 まで見たこともないくら
 いたくさん実ったのは。
 それからは10年ほど従来
 のように少ししか実らな
 い年が続いた後、今回の
 突然の豊作である。なぜ
 だろうかといういろいろ考

てみた。
 「木守り」を詠んだ句
 にこんなものがある。
 「木守りや
 空耳に聞く
 父の声」



木守りは懐かしさを呼び
 覚ますものでもあるとい
 う。そういえば久しく
 「ムク」のことを忘れて
 いた。ひよっとしたら
 「私のことを忘れない
 で、時には思い出して」
 と訴えるために柿をたく
 さん実らせたのかもしれ
 ない。優しい性格そのま
 まに今日も小鳥たちにお
 すそ分けしている。

この原稿を書いている平成
 25年12月現在、ドラマ「リ
 ガルハイ(2期)」が最終回
 を迎えております。実務と異
 なる点は当然多々あります
 が、弁護士視点から見ても
 とても面白いです。こういっ
 た弁護士ドラマ等を見
 て、裁判でも傍聴してみ
 ようかと思いつ方もお
 られるかもしれません。
 傍聴は基本的に自由で
 す。予約は不要ですし、
 身分確認もありません。
 ふらつと訪れて、開廷し
 ている適当な法廷に入
 り、好きな席に座って裁
 判の様子を見聞きするだ
 けです。他人の裁判を眺
 めるだけというのなかなか
 面白く、手軽に非日常的な雰
 囲気を味わえるため、傍聴マ
 ニアというものも存在しま
 す。今回は傍聴に行く際の注
 意事項をいくつか。
 まず、傍聴自体は基本的に
 自由ですが、一応厳粛な場で

～プロムナード～

傍聴のススメ

弁護士 飯島充士

すので、その空気を乱す人間
 は裁判官によって排除されま
 す。突然叫んだり、法廷内を
 ウロウロしたりするのは論外
 としても、「居眠りをしてい
 る」「ニヤニヤするのを止め
 ない」といった理由で退廷さ
 せられた傍聴人もいま
 した。裁判官から直々
 に「出て行け！」と言
 われるのはなかなか恥
 ずかしいので、なるべく
 く神妙な態度でいた方
 がよいでしょう。
 次に、傍聴するなら
 刑事裁判が絶対にお勧
 めです。というのも、
 民事裁判ではリーガル
 ハイのように弁護士が
 滔々と主張を展開したり、尋
 問で演説よろしく自己主張し
 たりすることはありません。
 主張は書面でやり取りし、尋
 問も必要なポイントに絞って
 聞くので、部外者からはどう
 いう事件で何をやっているの
 か、ほとんどわからないまま
 手続が進行します。
 その点、刑事裁判は冒頭で検
 察官が概要を述べてくれま
 す。尋問で泣き崩れる証人も
 いれば、悲しい過去や境遇を
 語り、あるいは異次元の弁解
 を展開する被告人もいます。
 運が良ければ、最後に裁判官
 が胸熱な訓辞説教で締めてく
 れることもあります。各当事
 者が虚実ないまぜに役割を演
 じている様は、ちよつとした
 舞台劇と言つてもよいかもし
 れません。
 課外授業で傍聴に来ている
 中高生を見かけると、「異議
 あり！」などとサービスタ
 くなりませんが、そうそう異議
 など述べる機会はなく、せめ
 てもと声を張って、多少なり
 ともドラマ的弁護士を演じら
 れるようにしています。弁護
 士も(おそらく裁判官も検察
 官も)観客がいた方が気合も
 入りますので、興味のある方
 はぜひ傍聴に出かけてみてく
 ださい。

ボランティア紹介 編集 廣瀬

今回ご紹介させて頂くのは、ボランティアで院内にいつもきれいなお花を飾って頂いている小川時江さんです。小川さんは、季節に合わせてお花をいつもきれいにアレンジして、院内の様々なところに飾って下さっています。

始められたきっかけは、義父様が当院に入院されることとなり長い付添い生活の中で少しでもリラククスしてもらえたらという気持ちだったのですが、それが徐々に広がり17年間!!現在も欠かさずとなく、患者様や私達職員に季節感を味わえるような素敵なお花を飾ってくださっています。

Q. 17年間続ける秘訣は?

A. 出来る時に出来る事をさせてもらっている

Q. 小川さんにとってボランティアとは?

A. 高齢者ボランティアが出来るのは健康に感謝です。(現在74歳!自分の事よと言っ

て笑われていました。)

Q. 小川さんにとってボランティアが出来るのは健康に感謝です。(現在74歳!自分の事よと言っ

て笑われていました。)

Q. 小川さんにとってボランティアとは?

A. ボランティアが出来るのは健康に感謝です。(現在74歳!自分の事よと言っ

て笑われていました。)

Q. 17年間続ける秘訣は?

A. 出来る時に出来る事をさせてもらっている

Q. 小川さんにとってボランティアとは?

A. ボランティアが出来るのは健康に感謝です。(現在74歳!自分の事よと言っ

て笑われていました。)



北病棟レクリエーションだより

平成25年12月18日 今年で、13

回目となるクリスマス会を療養病棟で開催しました。みなさん、療養病棟の平均年齢は何歳だと思われませんか? 現在なんと89歳となります。89年前と言うと一九二四年その時代を振り返ってみると、関東大震災、5・15事件や2・26事件などがあつた時代です。この時代を生き抜いてきた患者さん達です。



きつとその頃はクリスマス会なんて・・・考えられなかつた時代だろうな・・・と思うと感慨深くなつてしまいます。そのような患者さん・ご家族の方に喜んでもらえるようにと当日はサンタの衣装やトナカイの衣装に身を包んだスタッフが笑顔で出迎えました。ゲームや、職員によるダンスの披露。おやつタイムにはカップケーキ。当院の託児所の子供たちも一緒に楽しみました。最後は、スタッフも一緒に青い山脈やしあわせなら手をたたこう、お正月などを歌い、大いに笑いました。来年も皆さまにとっていい年でありますようにと願いをこめて・・・ご参加いただいた皆様、御協力いただいたスタッフの方々本当にありがとうございました。

職員旅行記 島根

事務部 柴原



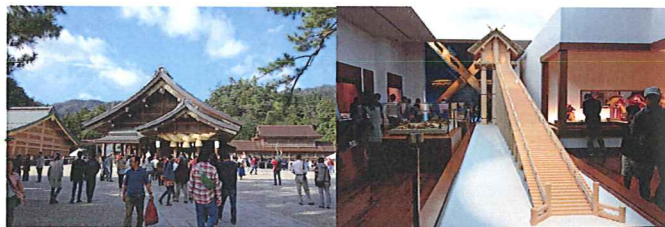
10月20日早朝、ただ待つばかり。飼育員が雨の降る中をしら魚をもらえるのをじっとまね海洋館アクアスと出雲大社へ向けて出発しました。多少の雨は覚悟していましたが、島根県に入ると雨はなく、出雲大社

最初の目的地アクアスでは、たくさんの海の生き物が私達を出迎えてくれました。参加した職員の子どもたちも大きな水槽の中で優雅に泳ぐ生き物たちを目で追いながらとても楽しそう。ペンギンの水槽に来るとちょうどエサやりタイムです。アクアスのペンギンはエサをもらえる順番が決まっています、2番目は3番目のペンギンは



リング目当ての人で水槽前はいっぱい。シロイルカの生態の紹介から始まり、たくさんの

披露してくれ、会場は拍手の嵐でした。次に向かったのは古代出雲歴史博物館。出土した青銅器や古代出雲の暮らしが紹介されていますが、中でも私の目にとまったのは、平安時代の出雲大社を言い伝えや絵図をもとに復元した10分の1の出雲大社本殿模型です。当時、全長16丈(約48m)だったというこの高大な本殿からは、当時の出雲びととしての出雲大社に対する信仰が伺えます。



最後に着いたのは現在の出雲大社。今年、昭和の遷宮以来60年ぶりの大遷宮の年。5月に修造を終え、5年ぶりに大国主大神が御本殿に戻られて、ますますパワーあふれる縁結びの聖地となりました。神社大好きの私としては、新しくなった御本殿を参拝できるのがとても楽しみです。まずは勢溜の大鳥居をくぐり全国でも珍しい下り坂の松の参道へ進み、遷宮中の神様のお住まいであった拝殿へ向かいます。そして国宝に指定されている御本殿。建物は修繕され檜皮葺の大屋根や屋根に飾られた千木は新しくなっていました。御本殿の裏へ回ると、素鷲社(すがのやしろ)へたどりつきます。この社はヤマタノオロチ退治で有名な素戔鳴尊(すさのおのみこと)が祭られており、御本殿の背後に堂々と佇む姿はとても立派で神秘的でした。この



お社が私の中で一番に印象に残っています。ところで、御本殿の神様は正面ではなく西を向いて鎮座されているのをご存知でしょうか。素鷲社を進むと御本殿の西側にたどりつくので、こちらから神様の方へ向いてお参りしましょう。最後の神楽殿には日本最大級の注連縄があり、長さ13.5m、重さ4.4tものすごい存在感を放っています。ここで参拝をしようとする、ちょうど結婚式が始まりました。この縁結びの神様の地で生涯を誓う幸せな二人を見て、私も周りの皆さんと一緒に拍手でお祝いしました。

今回は海洋館で可愛い生き物達に触れ合い、神様の地出雲で日々の生活への感謝の気持ちをお伝えする事ができて、とても楽しい1日でした。

消防競技大会出場

平成25年10月16日消防署主催の消防競技大会に参加してきました。場所は芦田川の河川敷で行われたのですが、消防関係者・参加者を含めると500名以上の人がいて、大変大きな大会でした。

当院からは（事務部大村・看護部岡田・事務部竹内）の三名が屋内消火栓の部に参加しました。この競技内容は、実際の火災を想定し三名がそれぞれの役割を分担し行動します。一人は119番通報をしたのち、消火器を持って所定の位置まで行き消火活動の補助をします。他の二人は消火栓ボックスに行き、非常ベルを鳴らした後ボックスよりホースを取り出し、所定の位置まで運びます。そして一人は消火ボックスに戻りバルブを開き、もう一人はホースの先を持ち放水し標的を倒します。この一連の動作のタイムの速さと正確性を競い、それぞれのチームに得点があります。

今回は、屋内消火栓の部には75組参加していました。当院は過去優勝した実績があるので、それに恥じない成績をあげなければというプレッシャーを感じながら競技に臨みました。この競技で一番大切なのは三人のチームワークです。我々は競技の順番が一番最後でしたので、その間他のチームの競技を観察し、入念な打ち合わせや模擬練習をして本番に挑みました。しかし競技中強風にあおられるという不運もあり、結果は36位という平凡な成績に終わりました。この結果は少し



残念でしたがやり遂げた充実感はありません。消防競技大会に参加して感じたことは、消防についての意識が高くなったということです。今回の競技では火災が起こったと想定し放水による消火活動を行ったのですが、本当に火災が起きたときには頭がパニックになり、なかなか迅速かつ正確な行動はできないのではないかと思います。だからこそこういう経験が本当に大事だと思えますし、経験が自信にもつながりますので、今回だけに終わらず機会があればまた参加したいと思えます。

みなさんも一度参加すると消防に対する意識が変わりますので是非参加してみてください。

新入職員紹介

（平成25年10月以降に入社）

外科医 石田道拡
看護補助 香月徳子

藤先生退職挨拶

この度十二月をもって異動することとなりました。前回同様に短い期間となりましたが三たび皆様のお役に立てる機会がありますように精進を続けたいと思います。先生方や看護師さんをはじめスタッフの方々に大変良くして頂きましたことをこの場を借りて感謝申し上げます。



蒼生 (2014年1月号)

発行 福山市曙町3丁目19番18号
医療法人蒼生会楠本病院
TEL (084) 954-3030
FAX (084) 954-9085
発行人 名誉院長 飯島崇史
発行日 2014年1月1日



理念

地域医療のニーズに応え住民の皆様の信頼を得る医療をめざします

基本方針

- ・急性期から慢性期さらには在宅支援まで含めた幅広い医療を提供いたします
- ・患者さんの安全を最優先に考える医療を行います
- ・新しい技術と知識の習得に努め、良質の医療を提供できるよう努力します
- ・快適な療養環境づくりをめざします